

# 共同運営部門：相談支援室・がん相談支援センター

## —関係部署—

関連部署	スタッフ名
がん相談支援センター長	位藤 俊一
医療マネジメント課 課長	守谷 美輝
外来 看護師	飛野 悦子
医療マネジメント課 MSW	下村 恭子

## —概要—

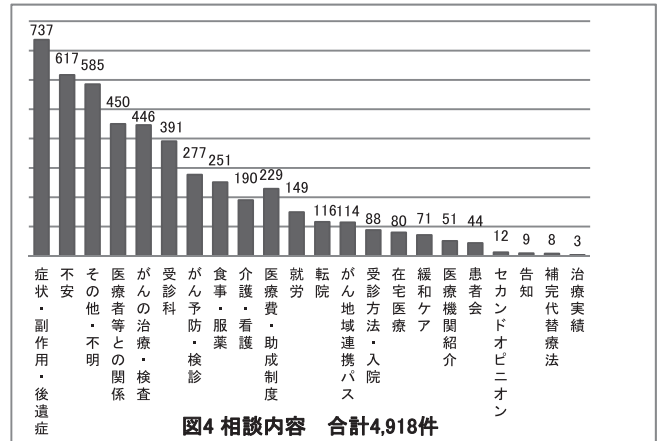
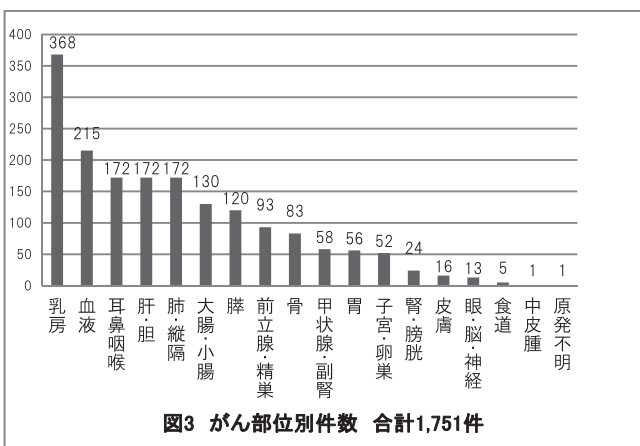
### 【業務の特色】

当部門は大阪府指定のがん診療連携拠点病院の‘がん相談支援センター’であり、当院の患者や地域住民に対して国立がん研究センター認定のがん専門相談員である看護師、MSWが治療や療養生活の不安に対し面談や電話による無料相談を行っている。また、‘相談支援室’としてがん以外の相談にも対応している。

2017年度の相談件数は2,170件で(図1参照) (前年度1,847件)、疾患内訳は「がん」1,751件、「がん以外・不明」1,126件であった(図2)。がんの部位にみると乳がんが1位、次いで血液疾患、耳鼻咽喉と続いている(図3)。

相談内容は、「疾患」、「不安」、「医療費」、「介護・看護」、など合計4,918件(図4)で、相談件数2,170件(図1)に対し約2.3倍となり相談者は複合的な悩みを抱えている。よって相談員は医療、生活、心理の側面から問題整理してサポートし、院内他部門、外部機関と連携している。就労世代のがん患者は診断後に離職してしまうことが多く仕事と治療の両立ができるよう離職しない支援を行っている。

## —実績—



## 【院外活動】

- ・大阪府がん診療連携協議会相談支援センター部会(2回)  
大阪府の国指定と府指定のがん相談支援センターが相談業務の質の向上と均点化を目的に協議した。
- ・泉州がん診療連携協議会 がん相談支援部会(4回)  
がん治療と仕事の両立支援相談の検討、学習
- ・泉州二次医療圏のがん拠点病院8施設が、地域住民ががんの知識を持ち治療できることを目指し講演会開催。

- 2017.10.14 第8回 泉州がん拠点病院 合同講演会  
場所 市立岸和田市民病院  
『免疫チェックポイント阻害剤、放射線治療について』
- 2018.2.10 第6回泉州がん拠点病院合同地区講演会  
場所 市立貝塚病院  
『乳がんの診断と治療、乳房再建手術について』

## —今年度の成果と反省点—

今年度の成果としては治療と仕事の両立支援を行うことができた。課題としては当部門の周知が更に必要である。

## —来年度への抱負—

引き続きどのような悩みであってもいつでも相談に来れるような場の提供を行い、患者や地域住民に対して当部門の周知活動、がん対策推進基本計画の中の重点的取り組み課題であるがん診断後の離職をさせないサポートと、治療と仕事の両立についての相談スキルを磨き支援の拡充を目標としたい。